

YOSANO

広報よさの

No. 74

●主な記事

02 木崎良子さんロンドン五輪代表決定

04 平成 24 年度予算

●今月の表紙

岩滝小学校卒業式（3月22日撮影）

2012

4

五輪へ！

木崎良子さん ロンドン五輪代表決定！！



3月12日、記者会見で代表選出の喜びを語った木崎さん

「与謝野町から五輪選手が誕生しました！」

3月12日、与謝野町民にとって非常にうれしいニュースが飛び込んできました。「与謝野町出身ランナーの木崎良子さん（下山田）ロンドン五輪女子マラソン日本代表に決定！」テレビの前で喜んだ皆さんも多いのではないのでしょうか。

昨年11月に開催された代表選考レースである横浜国際女子マラソンで優勝し、尾崎好美選手、重友梨佐選手とともに女子マラソン日本代表メンバーとして発表されました。おめでとうございます！

その活躍は「広報よさの2月号（No.73）」でもお伝えしたばかり。今後も目が離せないその姿を追っていきます。

「木崎さんを応援しましょう！」

ロンドン五輪女子マラソンのレースは8月5日。ロンドンの石畳の町並みをさつそうと駆ける木崎さんの活躍に期待です。役場各庁舎と国道176号沿いの計5カ所に木崎さんにエールを送る懸垂幕を設置したほか、与謝天橋立IC出口には応援看板を設置しています。まちをあげて木崎さんを応援しましょう！

「与謝野町名誉町民」として表彰します！」

「与謝野町名誉町民」は、与謝野町表彰条例の規定に基づき表彰を行うものです。町議会の承認を受けて、スポーツの分野で卓越した成果を挙げ、町の名譽を高めた方として、木崎さんを表彰することを決定しました。木崎さんは4人目の与謝野町名誉町民となり、与謝野町発足後初めての表彰となります。

木崎さんに応援メッセージを送ろう！

●町旗に寄せ書き！

4月9日から各地域振興課で木崎さんへの応援メッセージを受け付けています。与謝野町旗に寄せ書きして木崎選手にあなたの言葉でエールを送りましょう！

問 総務課 ☎ 46-3002

●YOSANO-STYLE に動画を投稿！

木崎さんにビデオメッセージを送りませんか。まちのポータルサイト「YOSANO-STYLE」にあなたの応援メッセージを動画で投稿できます！

問 企画財政課 ☎ 46-3084



横浜国際女子マラソンでの優勝のゴール！

中高生アスリート 大会結果 全国で！

2012 日本ジュニア室内陸上競技大阪大会
女子ジュニア 60mH 出場 (2/4～5・大阪府)

なかむら ゆう き
中村 有希 さん (加悦谷高1年)



「去年はけがが多く出場することが目標でした。今回はベストで臨むことができなかったのが、今年は怪我をしないようにして、インターハイや国体で結果が残せるように頑張りたいです」(予選敗退)

第32回全日本ウエイトリフティング選手権大会
62kg 級出場 (3/9～11・茨城県)

ほんだ だい ち
本田 大智 君 (加悦谷高1年)



「ジャークで追いつき逆転優勝できました。自己ベストに迫る記録も残せ、満足のできた大会でした。今後は全国選抜・国体・インターハイでの優勝を目指します」(ユースの部優勝・ジュニアの部6位)

第67回国民体育大会冬季大会(スキー競技)
ジャイアントスラローム少年男子出場 (2/14～17・岐阜県)

こじま かん た
小嶋 貫太 君 (江陽中3年)



「大きなミスはありませんでしたが、府の代表としてまずは完走を目指したこともあり、攻めきれない部分がありました。今後は秋田の高校に進み、しっかり結果が残せるように頑張りたいです」(61位)

4/1 中小企業振興基本条例施行！

与謝野町産業振興会議から提言を受け、町議会に提案していた「与謝野町中小企業振興基本条例」が可決され、府内初の条例として4月1日に施行されました。

「まちぐるみ」で経済の活性化を！

与謝野町では、持続可能なまちづくりを進めていくためには、町内事業所の大多数を占め、地域経済と地域社会の担い手である中小企業の発展が不可欠であり、その振興を行政運営の重要課題として位置づけることを明確にするため、中小企業振興基本条例を制定しました。

この条例は、「理念型」の条例であることが特徴で、事業者をはじめ住民の皆さん、経済団体等、そして行政がそれぞれの役割について理解し、「まちぐるみ」で地域循環型経済の構築を図ることを基本理念としています。

具体的には、中小企業に対しては創意工夫と

自主的な努力、事業者間・産業間の連携を求める一方、住民の皆さんには消費者として経済循環の一翼を担ってもらうことを求めています。行政は、産業振興会議を中心として地域経済について考えるネットワークを構築し、事業者や住民の皆さんの声を反映した中小企業振興施策を推進していきます。

条例は住民の皆さんのものです

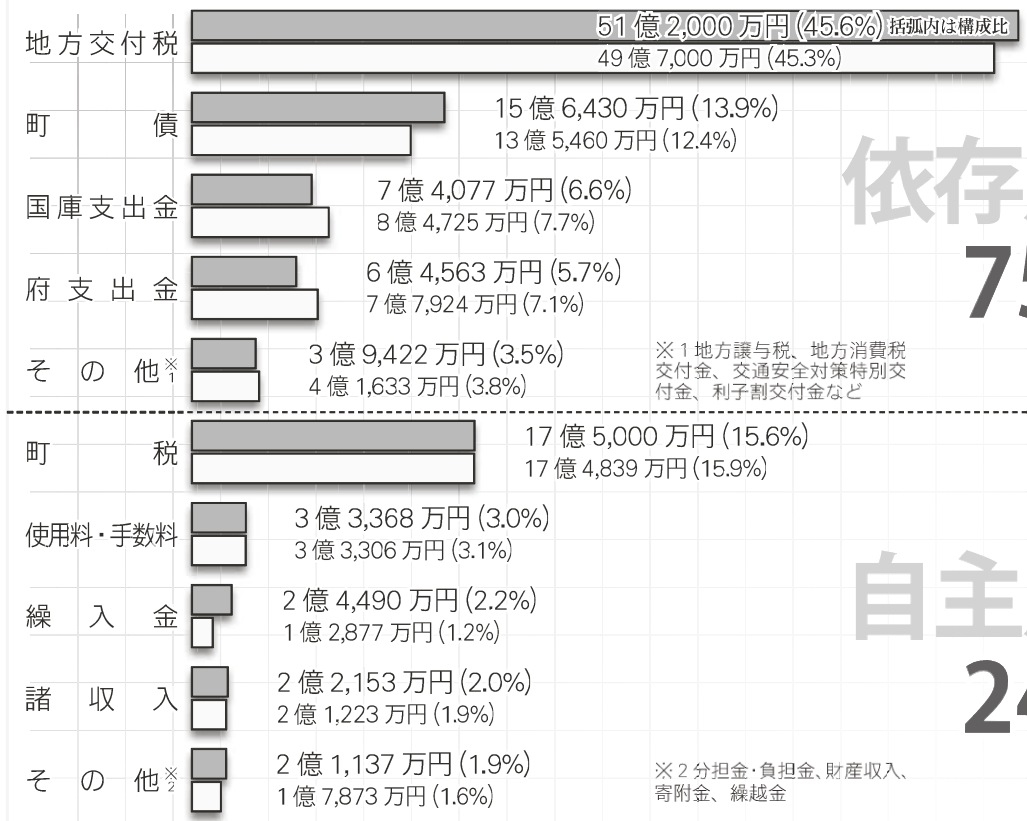
町内における経済活動と私たちの生活は密接に結びついています。条例の直接的な目的は中小企業の振興ですが、究極は私たちに豊かな暮らしをもたらすことを目的としています。「私たちみんなの条例」として皆さんのご理解とご協力をお願いします。

条例全文はホームページで公開しているほか、今後「広報よさの」でも詳しくお伝えする予定です。

府内初！



■一般会計 歳入 (款別前年度対比)

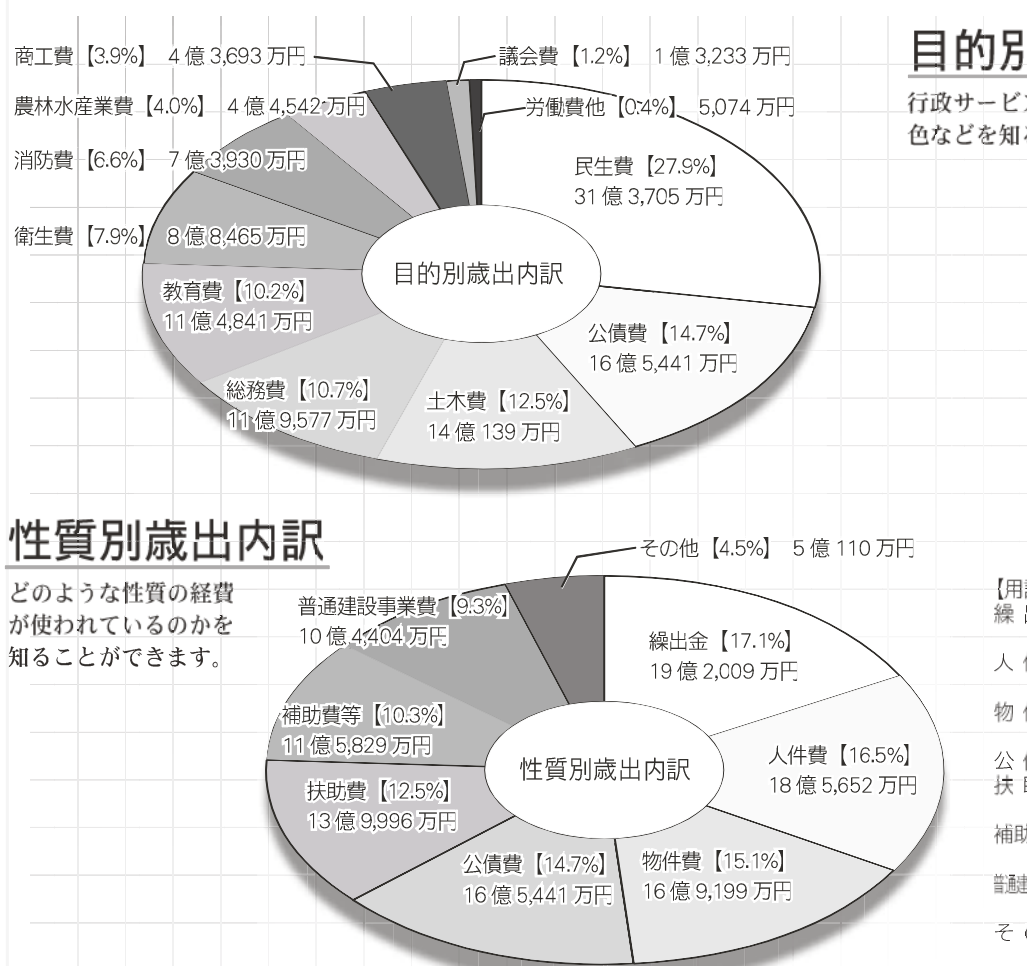


依存財源
75.3%

自主財源
24.7%



■一般会計 歳出 (決算統計区分による)



目的別歳出内訳

行政サービスの水準や行政上の特色などを知ることができます。



性質別歳出内訳

どのような性質の経費が使われているのかを知ることができます。

平成 24 年度予算

「防災対策」と「基盤整備」に重点を置いた予算

2月27日から開会された町議会で平成24年度当初予算が審議され原案どおり可決されましたので、その概要をお知らせします。

平成24年度予算は、昨年の3月に発生した東日本大震災を教訓に「地域防災計画」の見直し、浸水・地震対策等、安心・安全なまちづくりに関連した防災対策と基盤整備に重点を置いた予算となっています。

与謝野町として合併7年目を迎え、今年度は第1次与謝野町総合計画の前期基本計画および与謝野町行政改革大綱の最終年度となります。

しかしながら、町を取り巻く経済状況は先行きが不透明であり税収も増収が見込めず、平成20年度から続いていた国の緊急総合経済対策が終了するなど、多くの町政課題に対応するための財源の確保は非常に厳しい状況です。そのため限られた財源を効率的、かつ、効果的に活用し、住民の皆さんとともに「持続可能なまちづくり」を進めていきます。

● 予算総額 (水道事業会計は除く)
201 億 5,234 万円
平成 23 年予算比 3.2% 増

● 一般会計
112 億 2,640 万円
平成 23 年予算比 2.4% 増



■会計別予算額

会 計 別	24 年度総額	23 年度総額	前年対比
一 般 会 計	112 億 2,640 万円	109 億 6,860 万円	2.4%
特 別 会 計			
簡 易 水 道 特 別 会 計	11 億 8,780 万円	10 億 3,930 万円	14.3%
宅 地 造 成 事 業 特 別 会 計	1 億 7,491 万円	1 万円	1749030.0%
下 水 道 特 別 会 計	17 億 1,899 万円	17 億 7,504 万円	△ 3.2%
農 業 集 落 排 水 特 別 会 計	4,098 万円	4,373 万円	△ 6.3%
介 護 保 険 事 業 勘 定	23 億 3,573 万円	23 億 4,712 万円	△ 0.5%
特 別 会 計 サービス事業勘定	1,402 万円	1,906 万円	△ 26.4%
土 地 取 得 特 別 会 計	35 万円	34 万円	4.5%
国民健康保険 事 業 勘 定	30 億 220 万円	29 億 1,901 万円	2.8%
特 別 会 計 直 診 勘 定	1 億 2,750 万円	1 億 148 万円	25.6%
後 期 高 齢 者 医 療 特 別 会 計	2 億 4,350 万円	2 億 2,587 万円	7.8%
財 産 区 特 別 会 計	7,995 万円	8,044 万円	△ 0.6%
合 計	201 億 5,234 万円	195 億 1,999 万円	3.2%
水 道 事 業 会 計 (公 営 企 業 会 計)			
収 益 的 収 入	1 億 5,692 万円	1 億 5,384 万円	2.0%
収 益 的 支 出	1 億 8,181 万円	1 億 7,551 万円	3.6%
資 本 的 収 入	95 万円	124 万円	△ 23.5%
資 本 的 支 出	1 億 1,203 万円	7,523 万円	48.9%

※端数整理のため表内計が一致しないものがあります。

■平成 24 年度の主要事業



安心と生きがいのある 福祉のまちづくり

■地域福祉空間整備事業【一部新規】3,920 万円
NPO や社会福祉法人が加悦地域に整備中の「地域共生型福祉施設」の周辺整備と借入金への利子補給を交付。
■障害福祉サービス事業（相談支援）【新規】1,080 万円
個々の支援プランの作成とサービスを利用するための計画を作成。
■保育所整備事業【新規】290 万円
保育所の遊具更新工事と、加悦地域の 3 保育園と岩滝保育所に緊急通報装置を設置。
■子宮頸がんワクチン等接種事業【継続】1,262 万円
特定の年齢を対象に子宮頸がんワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンの接種を無料で実施。
■国民健康保険特別会計【新規】3,800 万円
国保診療所に併設するリハビリ棟を新たに建設し、理学療法を受けられる環境を充実。



伝統を活かし未来に チャレンジする産業づくり

■緊急雇用対策事業【継続】1,414 万円
無農薬栽培導入事業など 5 事業を実施。
■有害鳥獣対策事業【継続】4,865 万円
新たな取り組みとして遠隔操作捕獲檻の実証実験を実施。「実のなる森づくり事業」を引き続き実施。
■織物振興対策事業【継続】695 万円
「丹後ファッションウィーク」を継続。
織物技術革新事業費補助金を引き続き交付。
■産業振興貸付事業【充実】2,000 万円
町内事業所等が町の補助事業を活用し、産業活性化事業に取り組む場合、補助金の範囲内で事業費を貸し付け。
■地域総合整備資金貸付事業【新規】1 億 6,300 万円
NPO や社会福祉法人が加悦地域に整備中の「地域共生型福祉施設」の整備資金として「ふるさと融資」を実施。



自然と安全を守る まちの基盤づくり

■地球温暖化対策事業【一部新規】619 万円
公共施設の照明を LED 化するほか、エコカーを導入。「よさの百年の暮らし委員会」へ補助金等を交付。
■広域ごみ処理施設整備推進事業【継続】250 万円
広域ごみ処理施設の整備検討のため、「宮津と謝広域ごみ処理施設整備推進協議会」へ負担金を交付。
■災害に強い森づくり事業【継続】1,745 万円
災害に強い森づくりを推進するため、岩屋地区の堰堤の土砂浚渫および土砂流出防止工事を実施。
■河川改修事業【一部新規】7,350 万円
土砂堆積・常習浸水を解消するため、幾地地区の水路改修を引き続き実施し、明石川上流域の浸水対策に着手。

■防災行政無線施設整備事業【継続】1 億 9,379 万円
防災行政無線のデジタル化を平成 22 年度から 3 年間で整備する。今年度は野田川地域の整備を実施。
■浸水・地震対策事業・地域防災計画策定事業【継続・新規】853 万円
指定避難地等の海拔表示看板を設置するとともに、地震・津波・原子力対策等に対応できる地域防災計画を策定。



快適でやすらぎのある 生活環境づくり

■有線テレビ施設整備事業【一部新規】1,840 万円
有線テレビの引込工事を継続し実施。利便性の向上のため、事業者向けグローバル IP サービス等を導入。
■運転免許証自主返納支援事業【新規】20 万円
65 歳以上で運転免許証を自主返納する方を対象に、住基カードの無料交付や KTR の乗車券購入補助等の支援を行う。
■道路新設改良事業【一部新規】1 億 6,960 万円
各道路改良工事等を継続。
■都市公園整備事業【継続】1 億 2,400 万円
住民の憩いの場と観光スポットとして引き続き阿蘇シーサイドパーク整備事業を実施。



明日の人材を育てる 教育文化のまちづくり

■人づくり・国際交流事業【継続】228 万円
人材育成や国際交流の推進を目的に、ふるさと人づくり研修事業、アベリスツイス交流事業を実施。
■適応指導教室事業【継続】377 万円
不登校やひきこもりに対し、適切な指導や助言をする臨床心理士によるカウンセリングを実施。
■小・中学校施設整備事業【新規】7,741 万円
加悦中学校改築工事の実施設計業務、各校舎、プール等の計画的環境整備を実施。

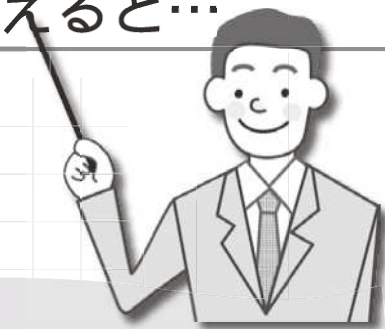


協働で進める まちづくり

■総合計画策定事業【一部新規】150 万円
平成 25 年度から 29 年度を計画期間とする後期基本計画を策定。
■住民自治活動支援事業【継続】650 万円
自治振興補助金による支援を引き続き実施。
■自治組織支援事業【継続】1,663 万円
自治体運営交付金、自治体活動に係る保険料の半額補助を引き続き実施。
■地区公民館整備事業【新規】5,440 万円
後野地区公民館の新築工事を実施。
■命の里事業（京都 X キャンプ事業）【新規】150 万円
大学や企業と芸術分野で交流を図り、地域協働・絆の再生に向けた取り組みを実施。

■一般会計予算を家計簿に例えると…

町の予算、平成 24 年度一般会計予算 112 億 2,640 万円を、
年間の収支が約 500 万円、月額にしておよそ 42 万 5 千円の
収入がある「よさのさん」のお宅の家計に置き換えて見て
みましょう。



よさの家

収 入				
まちの一般会計予算 (単位: 万円)			1 ヶ月の家計に 例えると (単位: 円)	
自主財源	町税、使用料・繰入金等	276,147	給料・パート収入等	105,000 [6.2%]
	地方交付税、国・府支出金等	690,063	祖父母からの仕送り等	261,000 [△ 1.6%]
依存財源	町債の発行	156,430	ローンの借入金	59,000 [15.5%]
収入計		1,122,640	収入計	425,000 [2.4%]

括弧内は前年度対比

収入は、会社勤めとパートの給料に加え、貯金を取り崩すことにより昨年に比べ 6.2% 増えていますが、祖父母からの仕送りが減ったことに加え、家の増改築費、子どもへの仕送り等の出費が増加したことにより、金融機関からの借入金が昨年に比べ 15.5% 増加しています。

長引く景気低迷のため給料の収入増は見込めないため、祖父母からの仕送りや金融機関からの借り入れでやりくりしなければなりません。



一カ月の家計簿

支 出				
まちの一般会計予算 (単位: 万円)			1 ヶ月の家計に 例えると (単位: 円)	
義務的経費	人件費	185,652	食費、医療費、ローン返済等	70,000 [△ 1.6%]
	扶助費	139,996		53,000 [△ 3.4%]
	公債費	165,441		63,000 [△ 2.8%]
普通建設事業費・維持補修費		110,174	家の増改築、修繕、車等の購入	42,000 [5.3%]
補助費・繰出金等		331,996	子どもへの仕送り等	126,000 [10.0%]
積立金		20,182	預金積立	7,000 [9.8%]
物件費		169,199	光熱費・日常生活品等	64,000 [0.4%]
支出計		1,122,640	支出計	425,000 [2.4%]

括弧内は前年度対比

生活に欠かすことのできない、食費や医療費、ローン返済などは、やり繰りにより昨年に比べ減少していますが、子どもへの仕送りが昨年に比べ 10% 増加し、家計の大きな負担となっています。

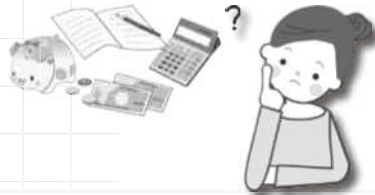


「よさの家」家計簿の用語解説

自主財源 町が自主的に収入できる財源のことで、町税、分担金および負担金、使用料、手数料、財産収入、寄附金、繰入金、繰越金、諸収入などがあります。町独自で収入額を決められるので「自主財源」と呼びます。

義務的経費 町の歳出の中で、支出が義務付けられ任意に削減できない極めて硬直性が強い経費のことです。職員給与等の人件費、医療費等の扶助費、地方債の元利償還金である公債費が該当します。

依存財源 国や府の基準に基づき交付されたり、割り当てられたりする町の収入。地方交付税、地方譲与税、国庫支出金、府支出金、地方債などがあります。町独自で収入額を決められないので「依存財源」と呼びます。



わたしは ココにいます！

4月1日付の与謝野町職員人事異動
と全職員の配置をお知らせします！
(括弧内は前所属)



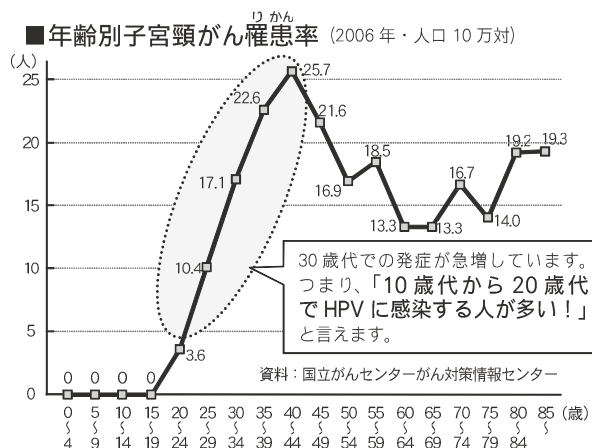
与謝野町役場

総務課	課長 奥野 稔	主幹 平野 公規	主幹 小牧 伸行	課長補佐 川村由美子
	(総務課長補佐)	(総務課長補佐)	(総務課長補佐)	(総務課長補佐)
建設課	主任 長島 昭太	主査 糸井 健博	主事 田中 栄輔	主事補 高尾 健志
	(建設課長補佐)	(建設課長補佐)	(建設課長補佐)	(建設課長補佐)
環境課	主任 成毛 克明	主任 志賀 伸之	主任 藤垣 浩二	主任 西原 正樹
	(環境課長補佐)	(環境課長補佐)	(環境課長補佐)	(環境課長補佐)
財政課	主任 小室 光秀	主任 吉岡 素子	主任 杉本真由美	主任 山口 周作
	(財政課長補佐)	(財政課長補佐)	(財政課長補佐)	(財政課長補佐)
企画課	主任 谷口 義明	主任 和田 直樹	主任 小谷 貴儀	主任 中田 秀樹
	(企画課長補佐)	(企画課長補佐)	(企画課長補佐)	(企画課長補佐)
商工観光課	主任 池田 浩樹	主任 千賀 忠	主任 金谷 信康	主任 松本 潤也
	(商工観光課長補佐)	(商工観光課長補佐)	(商工観光課長補佐)	(商工観光課長補佐)
福祉課	主任 佐賀 義之	主任 山崎 久代	主任 山口眞由美	主任 前野みゆき
	(福祉課長補佐)	(福祉課長補佐)	(福祉課長補佐)	(福祉課長補佐)
保健課	主任 泉谷 貞行	主任 前田 昌一	主任 柴田 和代	主任 水口 淳子
	(保健課長補佐)	(保健課長補佐)	(保健課長補佐)	(保健課長補佐)
農林課	主任 永島 洋規	主任 井上 雅之	主任 三田 大智	主任 杉本 政也
	(農林課長補佐)	(農林課長補佐)	(農林課長補佐)	(農林課長補佐)
野田川地域振興課	主任 浪江 昭人	主任 浪江 智子	主任 西原 誠	主任 坂根 加奈子
	(野田川地域振興課長補佐)	(野田川地域振興課長補佐)	(野田川地域振興課長補佐)	(野田川地域振興課長補佐)
野田川小学校	主任 植田 弘志	主任 太田 幸雄	主任 安田 敦	主任 山崎 幸雄
	(野田川小学校長補佐)	(野田川小学校長補佐)	(野田川小学校長補佐)	(野田川小学校長補佐)

水道課	課長 堀口 義雄	主幹 吉岡 弘人	主査 吉岡 弘人	主査 吉岡 弘人
	(水道課長補佐)	(水道課長補佐)	(水道課長補佐)	(水道課長補佐)
下水道課	主任 西村 良久	主任 茂龍 誠	主任 野村 光男	主任 永野 和美
	(下水道課長補佐)	(下水道課長補佐)	(下水道課長補佐)	(下水道課長補佐)
建設課	主任 山崎 友裕	主任 井戸本大輔	主任 牛田 竹史	主任 由利慎太郎
	(建設課長補佐)	(建設課長補佐)	(建設課長補佐)	(建設課長補佐)
環境課	主任 須田 美鈴	主任 赤西 秀幸	主任 須田 美鈴	主任 赤西 秀幸
	(環境課長補佐)	(環境課長補佐)	(環境課長補佐)	(環境課長補佐)
財政課	主任 山崎 友裕	主任 井戸本大輔	主任 牛田 竹史	主任 由利慎太郎
	(財政課長補佐)	(財政課長補佐)	(財政課長補佐)	(財政課長補佐)
企画課	主任 谷口 義明	主任 和田 直樹	主任 小谷 貴儀	主任 中田 秀樹
	(企画課長補佐)	(企画課長補佐)	(企画課長補佐)	(企画課長補佐)
商工観光課	主任 池田 浩樹	主任 千賀 忠	主任 金谷 信康	主任 松本 潤也
	(商工観光課長補佐)	(商工観光課長補佐)	(商工観光課長補佐)	(商工観光課長補佐)
福祉課	主任 佐賀 義之	主任 山崎 久代	主任 山口眞由美	主任 前野みゆき
	(福祉課長補佐)	(福祉課長補佐)	(福祉課長補佐)	(福祉課長補佐)
保健課	主任 泉谷 貞行	主任 前田 昌一	主任 柴田 和代	主任 水口 淳子
	(保健課長補佐)	(保健課長補佐)	(保健課長補佐)	(保健課長補佐)
農林課	主任 永島 洋規	主任 井上 雅之	主任 三田 大智	主任 杉本 政也
	(農林課長補佐)	(農林課長補佐)	(農林課長補佐)	(農林課長補佐)
野田川地域振興課	主任 浪江 昭人	主任 浪江 智子	主任 西原 誠	主任 坂根 加奈子
	(野田川地域振興課長補佐)	(野田川地域振興課長補佐)	(野田川地域振興課長補佐)	(野田川地域振興課長補佐)
野田川小学校	主任 植田 弘志	主任 太田 幸雄	主任 安田 敦	主任 山崎 幸雄
	(野田川小学校長補佐)	(野田川小学校長補佐)	(野田川小学校長補佐)	(野田川小学校長補佐)



健やか広場 ▶ 知っていますか？子宮頸がん



近年、20歳代から30歳代で急増している子宮頸がん。予防接種で予防でき、早期発見が可能です。自分の体を守るにはどうすればいいのでしょうか。

子宮頸がんとは？

子宮頸がんは、子宮の入り口である頸部にできるがんです。初期の子宮頸がんでは、全く症状がないのが普通です。がんが少し進行すると、初期の症状として、月経でない時の出血（不正出血）、性行為の際の出血、普段と違うおりものが増えたりします。ほかに月経の量が増えたり、長引いたりすることもあります。

●どんな人がなりやすいの？

ヒトパピローマウイルス（HPV）への感染が発がんとの強い関係があることがわかっています。低年齢での初交、性的パートナーが多い、多産、ほかの性行為感染症、喫煙が危険因子として報告されています。喫煙を除いて、その多くの危険因子はHPV感染へのリスクも高めます。

●HPV感染はありふれた現象です

HPVは決して珍しいウイルスではありません。性器の皮膚や粘膜、口に潜んでいます。性交経験のあるほとんどの女性が一度は感染していると言われていて、感染しただけで病気になる必要はなく、「現在のパートナーが信用できない」、「将来がんになる」と考えるのは間違いです。

●発がん性HPVに感染すると、約9割の人は2年以内に自己免疫により消滅します。しかし、約1割の人が感染したままとなり、さらにその1割程度の方が、がん細胞が発生する前の段階（細胞の異形成、前がん病変）の状態になると言われています。

●若い世代で急増する子宮頸がん

近年、HPV感染のピークが若年化したに伴い、20歳代、30歳代で子宮頸がんにかかる人が急増しています。年齢別のがん発症率では、

20歳代から40歳代で、子宮頸がんが圧倒的に1位です。

子宮頸がん予防ワクチン

子宮頸がん予防ワクチンは2種類あり、子宮頸がんの原因となりやすいHPV16型とHPV18型のウイルスに対する免疫をつくるものと、HPV16型・18型のほか、6型・11型に対する免疫をつくるものがあります。HPV16型・18型は子宮頸がん全体の約60%から70%を占めています。このワクチンを3回接種することでHPVの感染から長期にわたって体を守ることが可能です。

●予防ワクチン接種公費助成制度【対象者】

平成8年4月2日～平成12年4月1日生まれ（高校1年生～中学1年生の学年に相当する年齢）の女子

【費用】 無料

【手続】 保健課へ電話（☎43・1514）または直接お申し込みください。

町の検診を利用すれば無料で検診を受けられます！

しかし、ワクチンでは残りのHPVの型を予防することはできません。またすでに感染しているHPVを排除したり、前がん病変やがん細胞を消滅させる効果はありません。その

ため、子宮頸がんを完全に防ぐには、検診が絶対に欠かせません。

子宮頸がん検診は医療機関（婦人科）で受けられます。通常、病院での検診は保険外診療のため全額自己負担となり約5000円程度かかります。しかし、町で実施する検診を利用すると、自己負担額なしで受けることが可能です。

●指定医療機関利用の場合

検診期間は、5月1日から11月30日までです。

医療機関利用にあたっては「子宮頸がん検診受診票」が必要です。また、この期間外では子宮頸がん検診受診票は利用できません。

●集団検診の場合

対象者に送られる「各種健診申込書」でお申し込みください。

子宮頸がん検診受診票は、昨年の町実施の子宮頸がん検診が未受診の74歳以下の方に個別送付します。

検診で早期発見を！

子宮頸がんになるまでには、通常、数年から十数年と長い時間がかかるので、定期的に検診を受けていれば早期に発見し、治療することが可能です。

昨年末受診の方は、ぜひこの機会に受診をされてみてはいかがでしょうか？



がんばってます！消防団

編集 ● 消防団本部

新たな顔ぶれで「火災ゼロの町・与謝野町」へ！

住民の皆様には、消防団活動に対しまして格別のご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、4月から新体制となり、心新たに活動を行ってまいります。消防団の思いはひとつ、本年度も引き続き「火災ゼロの町・与謝野町」を目指し、「火事を出さない・出させない」をスローガンに、住民の皆様と一体となって、徹底した予防活動と、火災に備えて消防力の一層の充実を図るとともに、災害時における救助や水防活動など住民の安心・安全を守るための一役を担ってまいりたいと考えております。

長引く不況の中、消防団や団員を取り巻く環境も大きく変化し、自営業から勤めの団員が増え、団員の確保等も非常に厳しくなっています。そのような中ではありますが、住民の皆様の期待と信頼に応え、「自分たちの町は、自分たちで守る」という使命感のもと、団員一丸となり住民の皆様の大切な生命と財産を守るべく、微力ながら懸命の努力を傾注する覚悟であります。皆様のご支援とご協力を心からお願い申し上げます。



春は、アメリカでも他の国々でも、復活祭を祝います。キリスト教徒は、イエスは亡くなった3日後に蘇ったと信じていて、復活祭で彼の復活を祝います。日にちは毎年決まってはいませんが、復活祭の日は休日となり、多くのキリスト教徒は教会に行きます。復活祭の日、2月から始まった四旬節が終わります。四旬節の40日間、人々は懺悔のため自分の楽しみを我慢します。お菓子や肉、アルコールを我慢したり、断食する人もあります。

復活祭は非宗教的な休日として祝われることもあり、子供たちも楽しみにしています。復活祭の「Bunny（イースターバニー）」は人気キャラクターです。復活祭の朝、

イースターバニーは戸外にキャンディの入ったプラスチックの卵「イースターエッグ」を隠します。子供たちは、起きると、庭に隠されたカラフルな模様の描かれた卵を見つめます。卵を捜して、バスケットで集める「イースターエッグ・ハント」で、たくさんの卵を集めるため、子どもたち

は、公園などに出かけます。

イースターエッグを開けると、小さなおもちゃやキャンディがたくさん入っています。イースターエッグの中身で人気があるのは、チョコレートとゼリービーンズです。ゼリービーンズは色とりどりのお菓子で、虹みたいです。外側は硬いですが中はやわらかいグミです。ピープズもあり、鳥の形をしたマシュマロのお菓子で、ピンク、黄、青と紫色があります。また、チョコレートで作られたウサギは、とても人気があります。食べるのがもったいないほどかわいくて、子供たちは耳から食べるか、尾から食べるかみんな悩んでしまいます。すぐに食べてしまいますが！



イースターエッグで復活祭を楽しみましょう！

本物の卵を飾ることも伝統的で人気があります。卵に小さい穴を開け、慎重に中身を取り出し、塗装したり、染料の中でゆでて、色をつけたりします。復活祭は装飾の美しい、おいしく楽しい行事です。

楽しい復活祭と、楽しい春を迎えてください！

時の贈り物 [第60回 ちりめん街道の寺町的景観その3 実相寺] まちの文化財

与謝郡寺院明細帳（明治17年）によると、永禄元年（1558）に金屋村の旧城主井上正利が三男とともに功德庵を起し、同3年（1560）に三男を日祐と名づけ庵主としました。その後、元亀元年（1570年）に亡くなった正利が最初の檀徒となり、日祐を開基として本寺が始まったと



ちりめん街道を望む実相寺。寺町的景観を形成しています。

その石段を27歩で上り、山門をくぐると、正面に本堂、右に鐘楼、左に金色堂が配された伽藍の中央に立ちます。本堂には太鼓櫓が造りつけられ、奥に庫裏が連接しています。さらにその奥手には妙見堂が但馬道に南面しています。

現在の実相寺の景観は、今から248年前から形成され始め、その後、165年前までに整備されたものが基礎となつて今に伝わっていることがわかります。

与謝野町教育委員会

ちりめん街道の特徴の一つに寺社が集まった寺町さながらの風景があります。その一角にある実相寺は、山号を功德山といい、日蓮宗の寺院です。ちりめん街道沿いの下村家住宅（丸中）の角の信号機のある交差点を西に折れ、緩やかな坂道で目線を少し上げると、正面に実相寺の石段と山門が目に見え込んできます。

現存する建物は、本堂（宝暦14年（1764）建立、寛政4年（1792）改修）、山門（寛政5年（1793）建立）、妙見堂（弘化4年（1847）建立）、金色堂（昭和18年（1943）建立）となつています。

されていきます。また、天保7年（1836）、住職日護の時に再建されたと記されています。

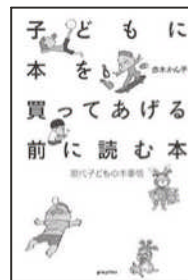
図書館へ行こう！

BOOKS

●今月のオススメの1冊

子ども読書の日

『君と未来をつなぐ本』 4月23日は子ども読書の日です。この日にちなみ、子どもの本やそれにまつわる話題について書かれた本を紹介します。



『子どもに本を買ってあげる前に読む本 現代子どもの本事情』 赤木かん子／ポプラ社

大人が面白い、すすめたいと思う本を子どもはそう思わない、このミスマッチが子どもを読書から遠ざけている。今必要とされている本とはなにかを、絵本や読み物さらにマンガまで紹介・解説しています。



『本へのとびら 岩波少年文庫を語る』 宮崎駿／岩波書店

独自の世界観と美しい映像で人々を魅了するアニメを生み出してきた著者が「大切な本が、1冊あればいい」として子どもや児童文学への思いをつづっています。推薦文つきで50冊が紹介されており、著者の発想の源を探るうえでも興味深い1冊。

『これは本』

レイン・スミス／BL出版

本を読んでいるサルくんを見て、「何もってるの？」と尋ねるロバくん。パソコンが得意なロバくんは、本の使い方を次々とサルくんに聞かせるのですが…。かみ合わない2人のユーモラスなやりとりからは、本を愛する著者の思いが伝わってきます。



『マジックツリーハウス 1 恐竜の谷の大冒険』

メアリー・ポープ・オズボーン／メディアファクトリー

ジャックとアニーの兄妹は、ある日森で木の上にある小屋「ツリーハウス」を見つけます。中で本を開いてみると、本の中の世界である恐竜時代にタイムスリップ！謎と冒険がいっぱいの大人気シリーズです。



今月の新着図書

●一般書 ●『子供の名前が危ない』牧野恭仁雄／ベストセラーズ ●『あんぼん』佐野真一／小学館 ●『踏みにじられた未来』長野智子／幻冬舎 ●『137億光年の宇宙論』藤田貢崇／朝日新聞出版 ●『ビューティ漢方道』幸井俊高／講談社 ●『7日でうまくなる油絵初級レッスン』小屋哲雄／誠文堂新光社 ●『高峰秀子暮らしの流儀』高峰秀子／新潮社 ●『震災句集』長谷川權／中央公論新社 ●『少女は卒業しない』朝井リョウ／集英社 ●『信長私記』花村萬月／講談社 ●『あなたの本』菅田哲也／中央公論新社 ●『ここはボツコニアン』宮部みゆき／集英社 ●『それでも三月は、また』谷川俊太郎／講談社 ●児童書 ●『みんなでつくろう学校図書館』成田康子／岩波書店 ●『特別授業3. 11君たちはどう生きるか』あさのあつこ他／河出書房新社 ●『草の葉のいろいろ 12か月』平野隆久／アリス館 ●『いのちつぐ「みとりびと」』國森康弘／農山漁村文化協会 ●『さあ、はじめよう！日本の武道 全3巻』こどもくらぶ編／岩崎書店 ●『ぴよこたんのあそびランド』このみひかる／あかね書房 ●『たった3語で話せる！はじめての英会話 全3巻』大門久美子文／汐文社 ●『かなと花ちゃん』富安陽子／アリス館 ●『マンガ平家物語 全2巻』館尾洵／朝日新聞出版 ●『東北んめえもののうた』長谷川義史／佼成出版

Topics

豆本づくり講習会を開催しました！

3月25日、手のひらサイズの豆本作りにチャレンジする講習会を知遊館で開催しました。小学生から大人まで12人が参加し、講師の中尾あみさんによる熱心な指導のもと、小さいながらも布表紙の本格的なアコーディオンアルバムを作りました。細かな作業もありましたが、参加者の皆さんはその出来栄に大満足の様子でした。



指導を受けながら真剣に作業しました

Info

4/23～5/12 は子どもの読書週間です！

入学や新生活など、新しいスタートにふさわしい季節。新しい目標や理想を考えると、著者の考えを知り、登場人物のさまざまな生き方を追体験できるのが、読書の醍醐味の一つです。ぜひ、本の世界の扉を開けてみてください。

図書館おはなし会

<本 館> 5月12日（土）10時30分～、15時～
<野田川> 4月21日（土）15時～
<加 悦> 4月14日（土）15時～



●問い合わせ先／与謝野町立図書館 ☎ 46-2451 加悦分室 ☎ 43-0376 野田川分室 ☎ 43-0087

●開館時間／午前10時～午後6時 ●休館日／毎週月曜（本館・加悦分室）、毎週火曜（野田川分室）、毎月最終木曜（共通）

丹後産コシヒカリ良食味米共励会 優秀賞



小谷安博さん

丹後産米の品質向上に取り
組む丹後米改良協会による
「平成23年度丹後産コシヒカ
リ良食味米共励会」の表彰式
と研修会が3月1日、丹後農
業研究所（京丹後市）で開催

され、与謝野町からは、小谷
安博さん（後野）が2年連続
で優秀賞（丹後米改良協会長
賞・与謝野町長賞）を受賞し
ました。

この賞は、丹後地域でコシ
ヒカリの良食味栽培に取り組
む農家を対象に、ほ場審査、
外観審査、食味審査を実施し、
各審査部門から優秀賞、奨励
賞をそれぞれ3点選び、特に
食味審査で最も優秀な米に最
優秀賞を贈るもので、「平成

23年度産米の食味ランキング」
で特Aを獲得した丹後産コシ
ヒカリの自慢の味を競います。
昨年8月から12月にかけて
各部門の審査が行われ、今年
は昨年の7点を大きく上回る
102点の応募がありました。

小谷さんはJA京都「京
の豆っこ米」生産部に所属
し、与謝野町が誇るブランド
米「京の豆っこ米」を栽培し
ており、今回その味が高く評
価されました。

消防庁長官表彰永年勤続章 日本消防協会長表彰精績章



小長谷淳さん

26年の永きにわたる消防
団活動における実績が評価さ
れ、小長谷淳前副団長がこ
のたび消防庁長官表彰永年勤
続章を受章し、3月8日に京
都府丹後広域振興局で前林振



小松理さん

興局長から表彰状が伝達され
ました。

また、小松理新副団長が
日本消防協会長表彰精績章を
受章されました。今後の活
躍を祈念します。



30歳の成人を代表してあいさつ
する前野さん

●30歳の成人式 in 与謝野

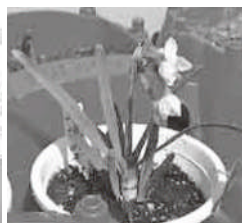
全国に先駆けて与謝野町で開催！

3月24日、「僕らがさわげば世界が変わる」をテーマに「30歳の成人式 in 与謝野」が野田川ユースセンターで初開催されました。「而立（三十にして立つ）」という節目の年に、与謝野町出身の同級生が集まり、まちの未来について考えようと、地元の有志による実行委員会が中心となって企画され、その呼びかけに対して町外や府外在住者を含めた70人が集まりました。

式典では、東京在住の前野達弥さんが「30歳の成人」を代表して「仕事や地域で一人でもやっていけるようになるのが20歳代だと思う。30歳代では本当の意味で『自律』しなければならない」とあいさつ。続いて、今井浩介さんが30歳の成人たちのまちへの思いをつづった「ギフト」を太田町長に手渡しました。その後は、実行委員長の山添藤真さんや宮津青年会議所の吉岡宗典さん、衆議院議員の小原舞さん、横糸勝仁さんによるパネルディスカッションが行われました。

山添さんは「与謝野町で先駆けて行ったこの取り組みが全国に広がればうれしく思う」と思いを語ってくれました。

最後は懇親会が行われ、久しぶりに再会した30歳の成人たちが笑顔で語り合いました。



左／奥村和己局長から感謝状を受け取る児童
右／開花したスイセン

●人権の花運動

子どもたちの運動に感謝状が贈られました

3月14日、市場小学校の「人権の花運動」に対し京都地方
法務局長と宮津人権擁護委員協議会長から感謝状が贈られまし
た。この運動は子どもたちが互いに協力して花を栽培すること
をとおして、命の大切さや相手への思いやりなど人権に対する
意識を身につけることを目的として、丹後・中丹人権啓発活動
地域ネットワーク協議会が実施しています。

昨秋から市場小学校1、2年生がみんなで大切に育ててきた
「スイセン」が開花しました。

●プラスワンスタディ

教える難しさと楽しさを学びました！

3月13日、15日、16日の3日間にわたり、加悦谷高
校の生徒たちが三河内小学校の児童たちを個別指導する丹
後教育局主催の「プラスワンスタディ」が同小学校で行わ
れました。教員を志望する生徒を中心に1年生から3年生
の高校生23人が参加し、3年生、5年生、6年生の児童
23人それぞれを担当。普段とは違う「教える立場」とし
て熱心に算数の個別指導を行いました。

事前に児童の担任の先生との打ち合わせや教材研究など
をとおして、教える立場としての心構えを学んで臨んだ生
徒たちですが、「わかりやすく伝えるのはやっぱり難しい」



真剣な指導の中にも笑顔が見られました

と教えることの難
しさを体感。しか
し、3日目には児
童とすっかり打ち
解けて指導も進み、
「児童への教え方
ややる気を出して
もらう工夫ができ
た」と感想を語っ
てくれました。

●子育て支援シンポジウム・講演会

作業療法士から子育てにアドバイス！

3月2日、子育て支援シンポジウム・講演
会が開催され、保護者や支援者など約240
人が参加しました。

シンポジウムでは、教育現場から与謝野町
の子どもたちの現状や課題について報告され、
続く講演会では、シンポジウムの内容を踏ま
えて、作業療法士として活躍中の難裕介さん
が「感覚刺激を活かす」をテーマに講演。子
どもたちの課題を解決するため、日々の生活
や遊びの中で取り組める具体的な方法を多数
提案しました。

参加者からは、「子どもの行動と感覚との
つながりがわかった」「行動に至る背景を考
える大切さを知ることができた」「明日から
実践したい」と声が聞かれ、大変好評でした。



子育ての悩みに具体的なア
ドバイスを送った難さん



バンド演奏で心をひとつに！

●ココ丹後

地域のつながり大切に

3月17日から20日、「個々がつ
ながる」「心をつなげる」「丹後でつ
なごう」をテーマに「ココ丹後」が
初開催されました。丹後地域で人々
がつながり、その元気を被災地へ届
けようと実行委員会を中心に企画さ
れ、与謝野町をはじめ京丹後市、宮
津市、伊根町の15の飲食店や施設
が参加。映画の上映や紙芝居、ライ
ブなどさまざまなイベントを行い、
それぞれに共通の募金箱を設置して
支援を訴えました。

実行委員会代表の植田友香理さん
は、「地域で人々がつながり、その
元気を届けたい」と語りました。

まちの話題をお届けします



着物に身を包んだ岩滝小の卒業生たち

●各小学校卒業式

華やかな衣装で思い出の卒業式に

町立小学校9校の卒業式が3月22日に行われ、6年間
馴れ親しんだ学び舎を261人の児童が巣立ちました。

与謝野町婦人会の「子どもたちに着物文化を体感しても
らう機会をつくろう」との思いを受け始まった着物姿によ
る卒業式は、今年で5回目。婦人会が着物を貸し出した岩
滝・岩屋小以外にも保護者らが準備した着物に身を包み、
卒業式を迎える児童の姿が見られました。中振袖に袴姿の
女子児童や羽織袴姿の男子児童が入場すると、会場は華や
いだ雰囲気。着慣れない着物に児童らは緊張した表情を
見せていましたが、織物のまちならではの卒業式は、出席
者全員の思い出に残るものとなりました。

●全国学校給食週間

子どもたちから感謝の メッセージ！

学校給食の意義や役割について
理解と関心を深めるための週間と
して毎年1月24日から1月30
日までは「全国学校給食週間」と
して定められています。

これにちなんで、町内の各小学
校の児童たちから給食センターに
給食を作っている人へのメッセー
ジが届けられました。

「いつもおいしい給食をありが
とう」「毎日バランスのよい献立
を考えてくれてありがとう」とた
くさんの温かいメッセージには日
ごろの感謝の思いがこめられてい
ました。



市場小から届いたメッセージ

シリーズ⑨
男女共同参画

家事も楽しむ

宝くじの収益金で
祭事用備品を整備しました

地域コミュニティ活動の発展を目的に、財団法人自治総合センターの自治宝くじ受託事業収入を財源とするコミュニティ助成金を受け、上山田区に祭事用備品が整備されました。

宝くじ助成事業は、皆さんが購入された宝くじを財源として、コミュニティの健全な発展を支援しています。

今回上山田区に整備された砂切屋台

老人医療費助成制度のご案内

図 保健課 ☎ 43-1514

高齢者を対象に医療費の自己負担額を助成します

この制度は、65歳から69歳の高齢者の方を対象に、医療費の自己負担額を助成することにより高齢者の健康の保持増進を図ろうとするもので、医療機関で受診した場合の自己負担（3割）が1割負担となる助成が受けられます。

福祉医療費受給者証の交付には申請書の提出と一定の所得審査が必要です。詳しくは、保健課福祉医療係（☎ 43・1514）までお問い合わせください。

- 認定要件**
- ①「一般老人世帯」
60歳未満の方と同居している世帯
 - ②「特別老人世帯」
60歳以上の方だけで構成されている世帯・単身世帯
- 本人、配偶者および扶養義務者の所得が本制度の所得基準額未満であること。※ただし、医療保険の加入状況（別世帯の方の扶養）によっては①の要件を満たしていることが必要な場合があります。

環境改善に取り組んでいます！

よさの百年の暮らし委員会 図 住民環境課 ☎ 43-2191



堀口副町長（左）に答申書を手渡す小西会長（中央）と植田副会長（右）

2月24日、よさの百年の暮らし委員会（略称「みらいふ」）の小西順子会長（下山田）と植田泰史副会長（男山）が「与謝野町地球温暖化対策実行計画の策定について答申されました！」

よさの百年の暮らし委員会は、与謝野町民から選ばれた12人のメンバーからなる環境を考える組織です。100年後の与謝野町の暮らしを見据えて今何をすべきか考えようと昨年4月に設立され、町長から「与謝野町地球温暖化対策実行計画」の策定についての諮問を受け、現状と課題について審議を重ね、答申書としてまとめあげました。答申書を受け取った堀口副町

長は、「この答申書をもとに、行政はもとより、事業者、住民とともに実行できる計画となるよう策定に努めたい」と話しました。

身近な生活から環境を考えましょう！

委員会では温暖化対策実行計画の策定についての審議のほか、将来の与謝野町の環境を守るための具体的な活動についても議論を重ねています。

身近な生活の中で実践できるエコを紹介するチラシを作成しており、その配布などをとおして、皆さんが身近なところから環境を考えるきっかけとなるよう活動しています。

オンリーワンブランドの確立を目指して

明日の農業を語る会 図 農林課 ☎ 43-2191



昨年11月11日に初開催した「明日の農業を語る会」。熱心な議論が交わされました。

第2回「語る会」を開催しました！

3月10日、前回に引き続き、コーディネーターに京都府立大学の桂准教授を迎え、今回は「ブランドと流通」にテーマを絞り、第2回「明日の農業を語る会」が開催されました。京の豆つこ米生産者2名と流通業者2名に行政を加えたパネラー5名が熱く討論を交わしました。

行政に対する要望も強く、「ゆるキャラを作成するだけでなく、いかに活用するか。例えば小学校での食育、食のイベント等へ積極的に参加し続けることが重要だ」との

厳しい意見も出ました。**ブランドの確立へ**

中でも参加者の関心が高かったのは、流通業者は生産地与謝野町や京の豆つこ米をどのように見ているか、何を求めているかということでした。結論は「まち・米に対するストーリーが不足しているのではないか」と言った厳しい見解でした。ブランド化とは、

- 唯一無二の存在
- ストーリー性
- 常に進化し続けることが重要で、「与謝野町には豊富な資源が存在しているため、物語を描きやすくブランド化できる要素を秘めている」また、「住民が知らないのは問題だ。豆つこ米を食べられるイベントを企画してPRしていくべきだ」と助言をいただきました。

今後も与謝野町の農業の発展を目指し、「語る会」で挙げられた指摘や提案、助言を参考に取り組みを進めます。

対象と思われる方は申請をお願いします

個人住民税の特別給付金の支給について 図 税務課 ☎ 44-2084

相続等に係る保険年金について特別給付金を支給します

遺族の方が年金として受給する生命保険金のうち、相続税の課税対象となつた部分については課税の対象にならないとする最高裁判所の判決（平成22年7月6日）を受けて、過去5年以内の各年分について対象となる方に、所得税、個人住民税の還付を実施しています。

過去5年を超える分も特別還付金として支給します

また、過去5年を超える分（平成12年分～平成17年分）についても、納めすぎとなっている所得税に相当する額を特別還付金として支給する制度が創設されました。

与謝野町でも平成13年度（平成12年分）以後の個人住民税で納めすぎとなっている税額に相当する金額を特別給付金として支給することになりました。

対象であると思われる方は、税務課で申請してください。

- 【支給対象】**
- 平成13年度から平成18年度において個人住民税を納付している方で、相続等により取得した生命保険契約などに基づく年金を課税されている方
- 【申請期限】**
- 平成24年12月31日まで
- 【申請先】**
- 税務課
- 【申請に必要なもの】**
- 税務署で所得税の特別還付金の請求を行った方
- 印鑑
 - 本人名義の通帳口座番号が分かるもの
 - 特別還付金の支給決定通知書の写し（税務署に請求後、交付される書類）
 - 特別還付金の額の計算明細書の写し（税務署に特別還付金の請求をしたときの写し）
- 所得税の特別還付金の請求を行っている方
- 印鑑
 - 本人名義の通帳口座番号が分かるもの
 - 保険年金の受給期間や受給総額が分かる書類の写し（保険会社からの通知書類など）

夜間納税窓口

4/26(木)27(金)5/1(火)
いずれも午後8時まで
野田川庁舎(税務課)
※納付書をご持参ください。

滞納相談窓口

※納期を超えた町税の納付相談窓口
京都地方税機構丹後地方事務所
京丹後市役所大宮庁舎 3階
☎ 0772-68-1041

与謝野町役場
☎ 46-3001 (代表)

岩海地域振興課
☎ 46-3002
総務課
☎ 46-3003
☎ 46-3004 (消防安全係)
企画財政課
☎ 46-3084
☎ 46-3085 (情報システム係)
建設課
☎ 46-3267
商工観光課
☎ 46-3269
会計室
☎ 46-3007

野田川庁舎
☎ 44-2081 (代表)

野田川地域振興課
☎ 44-2082
住民環境課
☎ 44-2083
税務課
☎ 44-2084
水道課
☎ 44-2085
下水道課
☎ 44-2086

加悦庁舎
☎ 43-1511 (代表)

加悦地域振興課
☎ 43-1512
福祉課
☎ 43-1513
保健課
☎ 43-1514
農林課
☎ 43-2191
議会事務局
☎ 43-0215
教育委員会 教育総務課
☎ 43-2192
教育委員会 教育推進課
☎ 43-2193



固定資産の縦覧・閲覧が出来ます

固定資産税 縦覧・閲覧制度

☎ 税務課 ☎ 44-2084

縦覧と閲覧の違い
【縦覧とは】
自己の所有する土地・家屋の評価に関し、他人の土地や家屋の評価額等と比較することで、その評価が適正であるかどうかを判断する制度です。

縦覧は税務課、閲覧は各庁舎で出来ます
【縦覧できる期間等】
● 期間／4月2日～5月31日
● 場所／税務課

縦覧・縦覧を希望される場合は、納税者からの委任状を必ず持参してください。
【閲覧できる期間等】
● 期間／4月2日以降
● 場所／税務課、岩滝・加悦地域振興課
※いずれも土・日・祝日除く、午前8時30分～午後5時まで。

【必要なもの】
● 印鑑
● 個人を証明できるもの（運転免許証・固定資産課税明細書等）

納税者以外の人が



取り組みのさらなる発展へ

京の豆っこ米栽培研修会

☎ 農林課 ☎ 43-2191

「京の豆っこ米」のさらなる普及へ 研修会を開催しました
3月14日、京の豆っこ米を栽培している生産者を対象に加悦保健センター（元気館）で「京の豆っこ米栽培研修会」を開催し、35人の皆さんが参加しました。

昨年「広報よさの9月号（No.67）」でも特集し、その取り組みを紹介した、「京の豆っこ米」に関する事業報告や今後の展開を、行政生産者など関係者が同じ思いで取り組んでいけるよう毎年開催しています。

今年は「京の豆っこ米」を取り扱う東京の商社をゲストに迎え、新たに取組む関東での展開について報告があったほか、平成24年度に重点的に行う町内での認知度を高めるための各事



京の豆っこ米生産者を中心に多くの方が参加しました。



納期限までに納付をお願いします

平成 24 年度町税等の納期

☎ 税務課 ☎ 44-2084 / 保健課 ☎ 43-1514

税目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	納税通知書の送付日
町民税 府民税	普通徴収		7/2 (月)		8/31 (金)		10/31 (水)			1/31 (木)			6月中旬
固定資産税		5/31 (木)		7/31 (火)		10/1 (月)			12/28 (金)				5月中旬
軽自動車税		5/31 (木)											5月中旬
国民健康保険税			7/2 (月)	7/31 (火)	8/31 (金)	10/1 (月)	10/31 (水)	11/30 (金)	12/28 (金)	1/31 (木)	2/28 (木)	4/1 (月)	6月中旬 ※納付書は毎月送付

納期は月末です
各税目とも、納期は月末ですが、その日が土・日、祝日の場合はその翌日となります。

納付方法
【町民税・固定資産税】
● 町・府民税は6月に、固定資産税は5月に1年分（各4枚）の納付書をまとめて送付しますので、なくさないようにしてください。

● 一括納付の方は、4枚の納付書を使って納付してください。

【国民健康保険税】
● 口座振替以外の方は、納付書を毎月発送します。

● 一括納付の方は、一括用納付書を使って納付してください。

【口座振替納付の方】
● 一括納付の方は、各税目の第1期納期限に

振替します。
● 期別納付の方は、各税目の納期限に振替します。

延滞金について
納期限を過ぎてから納付した場合は、納期限の翌日から完納の日までの日数に応じて、※年14・6%の割合を乗じて計算した延滞金を課することになります。

※納期限の翌月から1カ月を経過する日までの期間については年7・3%。ただし、前年の11月末日の公定歩合に年4%を加算した割合が年7・3%に満たない場合はその年内においては当該公定歩合に年4%を加算した割合。



ツバキの祭典の開催が内定しました！

第26回全国椿サミット与謝野大会（仮称）

☎ 商工観光課 ☎ 46-3269

山口県萩市で開催された「第22回全国椿サミット萩大会」期間中の2月24日、全国椿サミット協議会が行われ、平成28年4月に開催予定の第26回大会の開催地を与謝野町とすることが内定しました（正式決定は第24回大会）。

全国椿サミットは、全国のツバキ愛好家が一堂に集い、情報交換と交流を通じて地域の活性化に資することを目的に毎年開催されているもので、与謝野町での開催を要望していました。

4年後の開催に向け、町の木「椿」を町内外にPRし、大会に向けて機運を高めていきますので、皆さんのご協力をお願いします。

山口県萩市で開催された全国椿サミット協議会の様子

町内に配布している
広報誌には掲載しています

お悔やみ
(敬称略)

町内に配布している
広報誌には掲載しています

おめでとう
ございます
(敬称略)

まちのうごき
平成 24 年 2 月末現在
人 口 24,202 人 (－16)
男 11,494 人 (＋1)
女 12,708 人 (－17)
世帯数 9,128 戸 (＋7)
※括弧内は前月比

警報などの緊急情報を KYTで確認できます!!

F M告知放送端末機が発光したら KYTで緊急情報を確認してください!

F M告知端末機のライトが発光したら Jアラート連携の緊急放送です。L字型の緊急情報が約 15 分間表示されますので、町有線テレビ (KYT) 放送チャンネルをご覧ください (タイムラグ最大約 2 分)。



緊急 L 字放送画面 (イメージ)



データ放送で確認!

緊急 L 字放送画面は緊急情報を受けてから約15分間表示します。その後、緊急 L 字放送画面は元の画面に戻り、画面中央にデータ放送を確認するお知らせが表示されます (約30秒間)。約24時間はデータ放送で緊急情報を確認することができます (データ放送はアナログテレビではご覧になれません)。

①で d ボタンを押してデータ放送画面を開き、②から④の順に画面を進めると緊急情報が確認できます

音声で緊急情報をお知らせしています

気象情報や津波情報、緊急地震速報、国民保護情報などについて、国から発信される緊急情報を「全国瞬時警報システム (通称「Jアラート」) を通じて町が受信し、自動連携によって、屋外拡声器 (※デジタル防災行政無線放送) と F M 告知端末機 (有線テレビ F M 告知放送) から合成音声でお伝えしてきます。

※野田川地域は平成 24 年度に整備します

文字情報としてもお知らせできるようになりました!

「有線テレビ自主放送」のシステム機能強化を図り、4 月から今までの機能に加え、Jアラート連携の情報を、自動で KYT 自主放送チャンネルのテレビ画面 (緊急 L 字放送・データ放送) から「文字情報」としてお知らせできるようになっています。

ご理解とご協力をお願いします

実際の緊急情報がないかぎり、システム確認ができないことから、運用しながら自動表記の文字内容 (緊急 L 字放送など) を確認精査して修正・改良を行っていきます。そのため運用当初は見苦しい点があるかもしれませんが、ご理解とご協力をお願いします。

Jアラート連携の放送内容

気象情報	警報 (大雨、洪水、暴風雪、大雪、高潮)、土砂災害警戒情報、竜巻注意報
津波情報	津波注意報、津波警報、大津波警報
緊急地震速報	推定震度 4、5 弱、5 強、6 弱、6 強、7
国民保護情報	ゲリラ・特殊部隊攻撃情報、航空攻撃情報、弾道ミサイルに関する情報、大規模テロ情報